

県議会議員はくいし恵子の



風だより

‘19.11月議会報告ダイジェスト

発行者 はくいし恵子
事務所 松江市大輪町414-12
TEL/FAX 0852-23-0880
発行日 2019年12月27日

* はじめに

‘19年11月議会は島根創生計画の素案に沿った具体的なスクラップアンドビルドの事業が示され、その中でも少人数学級編成の見直しが大きな議論となりました。潤沢な財政状況であればあれもこれもやりたいのは山々ですが、毎年20億の赤字が発生する厳しい状況では、そうならないのが現実です。今後も様々議論を重ね、よりベターな結論を得たいと思っています。

12月2日に行いました一般質問をご報告します。ご意見などお寄せいただければ幸いです。

* 11月定例議会、一般質問

質問：県職員の働き方改革について（総務部長）

1) 多様な働き方に繋がる取り組みの実施状況、評価を伺う。

TV会議システムの全庁導入、サテライトオフィスを実施。今年度はAIによる会議録作成、RPAの実証実験を開始する。時差出勤制度は1割が利用。その他柔軟な勤務時間割り振り、有給取得促進等の新たな取り組みを進めている。

2) 子育て中、妊娠中、介護中の職員を両立可能な職場に配置する考えはあるか。

適材適所を原則としながら、職員の自己申告書や所属長の個人面談により、丁寧に対応している。

3) 男性の育中取得向上対策を伺う。

2020年度末13%が目標。昨年度は知事部局で19.6%の実績。管理職を含め職場全体で取得を後押しする環境づくりが重要。女性活躍推進プロジェクトチームで具体的な取り組みを検討中。

4) 管理職の細かな気配りやマネジメント力を高める取り組みについて伺う。

ワーク・ライフ・バランスに関する研修や長時間勤務者の所属へ面談等の個別対応などを通じ、マネジメント力の向上を図る。

質問：災害、災害支援を想定した人員配置について（総務部長）



1) 被災地支援や県内の災害に備え、経験者を育てる為に土木職員の増員をする考えがあるか伺う。

土木職場に業務負担が生じていることは承知している。しかし厳しい財政状況の中では災害を見越して人員に余裕を持たせるのは困難。土木系職員の採用が予定通りできていないので、まずそれを改善する努力をしていく。これは国全体の課題でもあるので、国の対応を注視しつつ対応を考えていく。

質問：困難を抱える人の支援について

1) 子育て世代包括支援センターの全市町村設置促進と切れ目のない支援について、知事の考えを伺う。(知事)

10月時点で13市町村設置され、来年度中には全市町村設置見込み。関係者の研修の充実、優良事例の紹介、全県横展開など市町村と一体になってセンター機能の充実強化を図っていく。また、産後ケア等をはじめ妊娠から子育てまで切れ目のない支援ができるよう努める。

2) 保健師、教師、保育士等の研修に子どもの変化に気づき、アプローチできるような内容が盛り込まれているか。(健康福祉部長)

保健師研修では、面接技術の向上や気づきのチェックシートなどの研修を定期的実施。保育士では新任、中堅対象に児童虐待や発達障がい支援の観点からの気づきの研修を実施し、所内や園内で情報共有ができるよう取り組んでいる。

3) 困難を抱える家族に学校や保育所全体で取り組み、外部に繋げる体制があるか。(健康福祉部長)

気づいた情報を所内で共有し全体で対応している。外部との連携では各種専門機関への相談をしたり、保護者に相談を促している。

子どもの変化に対する気づきは早期支援のための大切な視点。養護教諭、生徒指導教員、教育相談コーディネータ、学校事務職員それぞれの研修において、その職種ならではの気づきのポイントを研修している。さらに充実するとともに、研修内容を職員間で共有するよう徹底する。全体での取り組みや外部との連携では、教育相談コーディネータを中心とした支援会議で共有。会議にはスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーも入って方針決定し、外部の専門機関と連携して支援する。すべての学校で機能しているわけではないので事例を通しての問題点などを研修に取り入れていきたい。

*再質問として、女性職員の配置上の配慮について、丁寧に聞き取りをすることを要望。また、土木職員の増員についても再度質問しました。

*答弁は、自己申告書にはすべて目を通していているが、希望通りにはならないこともある、土木職員の増員については、そもそも倍率が下がって十分確保できていないが、1人でも2人でも増員できないかは改めて検討する、というものでした。

あっという間に 年末を迎えました。例年11月議会は、県職員の抱える問題を中心に取り上げています。今回は「働き方改革」でしたが、県の職場がひとつの事例となって県内全体の企業へも広がって行くことを願い、時間外削減の具体策や男性の育児休業取得の促進、子育てや介護中の職員への配慮を取り上げました。少しずつでも進んでいくことを願っています。

2019.12.24 はくいし恵子



HPは <http://www.hakuishi.sakura.ne.jp/index.html>

FBは「はくいし恵子」事務所 FBは「はくいし恵子とともに」で!